

# 北部機械金属業界の景況動向

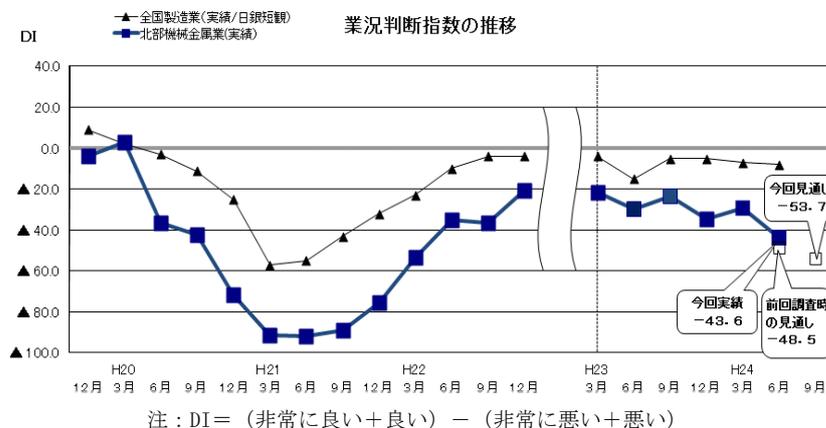
## (2012年4～6月実績/2012年7～9月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業285社 【調査時点 平成24年6月下旬】
- 回答数：112社（回答率39.3%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:16、舞鶴市:15、綾部市:16、宮津市・与謝郡:14、京丹後市:51
  - ②取扱別 = 一般機械:51、電気機械:14、輸送機械:20、精密機械:17、その他:10
    - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
    - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1～9人:47、10～19人:20、21～49人:30、50～99人:10、100人以上:5
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

### － 調査結果 －

#### 1 景況動向判断

●4～6月実績のDI(業況判断指数)は-43.6となり、前回調査(1～3月分。以下「前回」という。)より▲14.3ポイント悪化した(前回-29.3)。地域別に見ても、すべての地域で悪化しており、福知山市域は-24.9(前回-11.1)と▲13.8ポイント、舞鶴市域は0(前回11.1)と▲11.1ポイント、綾部市域は-66.6(前回-38.9)と▲27.7ポイント、宮津市・与謝郡域は-71.4(前回-62.5)と▲8.9ポイント、京丹後市域は-47.1(前回-35.7)と▲11.4ポイントの悪化となった。このように、北部地域全体の景況感は、丹後、中丹ともに落ち込んだ状況となっており、特に綾部市域が悪化している。



●7～9月見通しのDIは-53.7と、前回より▲5.2ポイント悪化した(前回-48.5)。地域別に見ると、一部中丹地域で良い企業があるが、綾部市域、宮津・与謝郡域及び京丹後市域では実績、見通しともに約6割を超える企業が「悪い」「非常に悪い」と回答しており、今後の景況は不透明な状況が伺える。

景況動向判断 4～6月実績

全体	109	34.6	44.5	10.0
	■非常に良い	□良い	□普通	■非常に悪い
福知山市	18.8	37.5	37.5	6.2
舞鶴市	21.4	57.2	7.1	14.3
綾部市	6.7	20.0	66.7	6.6
宮津・与謝	28.6	50.0	21.4	
京丹後市	9.8	33.3	49.0	7.9

景況動向判断 7～9月見通し

全体	3.7	38.9	47.2	10.2
	■非常に良い	□良い	□普通	■非常に悪い
福知山市	6.3	56.3	31.2	6.2
舞鶴市	13.3	46.7	26.7	13.3
綾部市	6.7	20.0	66.7	6.6
宮津・与謝	30.8	46.1	23.1	
京丹後市	38.8	53.0	8.2	

#### 2 採算状況

●4～6月の採算状況は、黒字とする企業が18.9%(前回18.7%)、赤字とする企業が33.3%(前回33.3%)と、5期連続で赤字企業が黒字企業を上回り、厳しい状況が続いている。地域別では、福知山市、綾部市及び宮津市・与謝郡域では黒字とする企業の割合が増加している。その一方で、綾部市では赤字とする企業の割合も増加しており、二極化が進んでいると考えられる。

4～6月採算状況

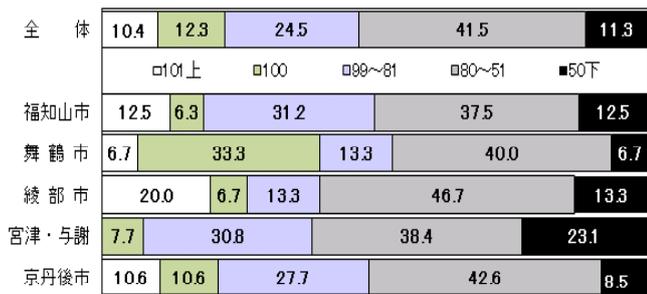
全体	18.9	47.8	33.3
	■黒字	□トントン	■赤字
福知山市	37.5	31.3	31.2
舞鶴市	13.4	73.3	13.3
綾部市	20.0	40.0	40.0
宮津・与謝	7.1	50.0	42.9
京丹後市	17.6	47.1	35.3

### 3 受注量



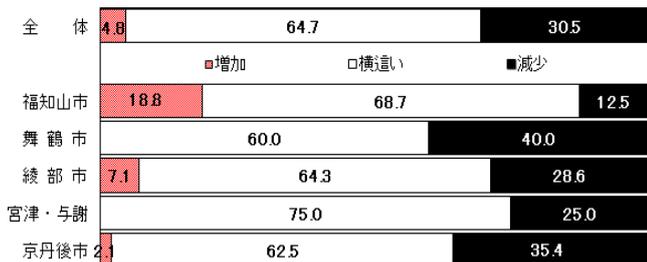
- 4~6月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は43.6%（前回42.2%）と増加した。地域別では、宮津市・与謝郡域では対前年同期比100%以上を確保できた企業は、3期連続で2割に満たなかった。対3か月前比100%以上を確保した企業も49.0%（前回46.8%）と増加した。地域別では、綾部市域では、対3か月前比100%以上を確保できた企業は3割未満に過ぎなかった。

4~6月受注量(受注能力を100として%)



- 4~6月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は22.7%（前回22.2%）とわずかながら増加した。地域別では、舞鶴市域では4割の企業が100%以上としている一方、宮津市・与謝郡域では2割以上の企業が50%以下としている。

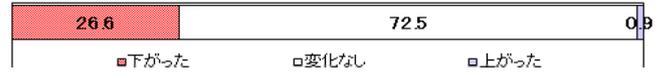
7~9月受注見通し



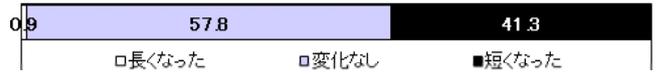
- 7~9月受注見通し（左下図）は、横這いと見込む企業の割合が64.7%と増加した（前回50.9%）。舞鶴市域及び宮津市・与謝郡域では、増加を見込む企業は皆無となっている。

### 4 受注条件（受注単価／納期）

4~6月受注単価(前年比%)



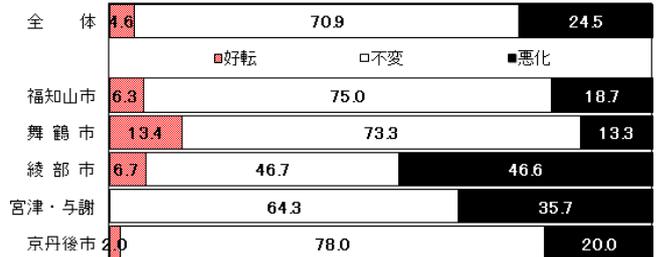
4~6月納期



- 受注単価が下がったとする企業は26.6%（前回27.1%）、納期が短くなったとする企業は41.3%（前回45.2%）と、前回調査と同様に厳しい状態が続いている。しかし、受注単価が上がった、納期が長くなったと回答する企業もわずかながら存在する。

### 5 資金繰り

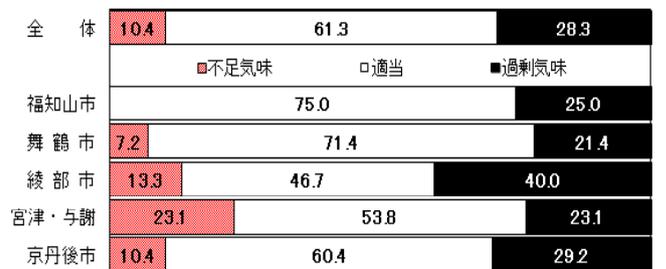
4~6月資金繰り



- 資金繰りは、不変とした企業が70.9%（前回68.0%）となった。地域別では、宮津市・与謝郡域では好転とした企業は皆無であり、悪化とした企業の割合は綾部市域で最も高くなっている。

### 6 従業員数

4~6月従業員数



- 従業員数は、不足気味が10.4%（前回9.2%）、過剰気味が28.3%（前回20.0%）となった。地域別では、福知山市域では不足気味とした企業が無く、綾部市域では4割の企業が過剰気味となり、宮津・与謝郡域では23.1%が不足気味となっている。